ユーザ プロファイルの設定

- ユーザプロファイルの概要 （1 ページ）
- ユーザ プロファイルの前提条件 （2 ページ）
- ユーザ プロファイルの設定タスク フロー （2 ページ）

ユーザプロファイルの概要

ユーザプロファイルには、一般的なディレクトリ番号とデバイスの設定が含まれています。最も一般的なディレクトリ番号の設定と、ユーザが必要とするデバイスの設定を含むさまざまなユーザプロファイルを設定し、各ユーザプロファイルを設定する必要があるユーザに割り当てることができます。各ユーザの電話回線と電話の設定要件に応じて、社内のユーザグループごとに異なるユーザプロファイルを設定できます。

セルフプロビジョニングが有効になっているエンドユーザに対して、ユーザプロファイルからの電話機と電話回線の設定は、ユーザがプロビジョニングするすべての新しい電話機に適用されます。ユーザがセルフプロビジョニングに対応していない場合、ユーザプロファイルの設定は、エンドユーザの代わりに管理者がプロビジョニングした任意の新しい電話機に適用できます。

ユーザプロファイルは、次の電話機と電話回線テンプレートの設定を使用してエンドユーザのプロファイルを作成します。

- ユニバーサル回線テンプレート: 通常、ディレクトリ番号に割り当てられる、一般的な電話回線の設定の集合。ユニバーサル回線テンプレートを使用すると、エンドユーザに割り当てられた新しいディレクトリ番号の電話回線をすばやく設定できます。
- ユニバーサルデバイステンプレート: 電話機またはその他のデバイスに通常割り当てられる、一般的なデバイス設定の集合。ユニバーサルデバイステンプレートを使用すると、エンドユーザに割り当てられた新しい電話機をすばやく設定することができます。

ユーザ プロファイルの前提条件

ユーザプロファイルを設定する前に、導入時にどのように電話をプロビジョニングするかの計画を立てることを確認します。セルフプロビジョニングを使用して、エンドユーザが自分の電話をプロビジョンできるようにするかどうかを決定します。

ユーザ プロファイルの設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	ユニバーサル回線テンプレートの設定 （2 ページ）	電話番号に一般的に適用される共通設定を使用して、ユニバーサル回線テンプレートを設定します。
ステップ 2	ユニバーサル デバイス テンプレートの設定 （3 ページ）	電話に一般的に適用される共通設定を使用して、ユニバーサル デバイス テンプレートを設定します。
ステップ 3	ユーザ プロファイルの設定 （4 ページ）	ユニバーサル回線テンプレートとユニバーサル デバイス テンプレートをユーザ プロファイルに割り当てます。

ユニバーサル回線テンプレートの設定

ユニバーサル回線テンプレートを使用すると、新しく割り当てられたディレクトリ番号に共通の設定を簡単に適用できます。さまざまなユーザ グループのニーズに合わせて、異なるテンプレートを設定します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration で、**[ユーザ管理（User Management）] > [ユーザ/電話の追加（User/Phone Add）] > [ユニバーサル回線テンプレート（Universal Line Template）]** を選択します。

ステップ 2 [新規追加（Add New）] をクリックします。

ステップ 3 [ユニバーサル回線テンプレートの設定（Universal Line Template Configuration）] ウィンドウで各フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 4 代替番号を使用したグローバル ダイヤル プラン レプリケーションを展開する場合は、[エンタープライズ代替番号（Enterprise Alternate Number）] セクションと [+E.164代替番号（+E.164 Alternate Number）] セクションを展開して、次の手順を実行します。

a) [エンタープライズ代替番号の追加（Add Enterprise Alternate Number）] ボタンまたは [+E.164代替番号の追加（Add +E.164 Alternate Number）] ボタンのいずれか、または両方をクリックします。

b) 代替番号への割り当に使用する [番号マスク（Number Mask）] を追加します。たとえば、4 桁の内線番号では、エンタープライズ番号マスク として 5 XXXX を使用し、+E.164 代替番号マスクとして 1972555XXXX を使用することが考えられます。

c) 代替番号を割り当てるパーティションを割り当てます。

d) ILS を通じてこの番号をアドバタイズする場合は、[ILS経由でグローバルにアドバタイズ（Advertise Globally via ILS）] チェックボックスをオンにします。アドバタイズされたパターンを使用して一定の代替番号の範囲を要約している場合は、個別の代替番号をアドバタイズする必要はありません。

e) [PSTNフェールオーバー（PSTN Failover）]セクションを展開して、通常のコール ルーティングが失敗した場合に使用する PSTN フェールオーバーとして、[エンタープライズ番号（Enterprise Number）] または [+E.164代替番号（+E.164 Alternate Number）] を選択します。

ステップ 5 [保存（Save）] をクリックします。

ユニバーサル デバイス テンプレートの設定

ユニバーサル デバイス テンプレートを使用すると、新しくプロビジョニングしたデバイスに簡単に設定を適用できます。プロビジョニングされたデバイスは、ユニバーサル デバイス テンプレートの設定を使用します。さまざまなユーザ グループのニーズを満たすために、異なるデバイステンプレートを設定できます。設定したプロファイルをこのテンプレートに割り当てることもできます。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration で、**[ユーザの管理（User Management）] > [ユーザ/電話の追加（User/Phone Add）] > [ユニバーサル デバイス テンプレート（Universal Device Template）]** を選択します。

ステップ 2 [新規追加（Add New）] をクリックします。

ステップ 3 次の必須フィールドに入力します。

a) テンプレートの [デバイスの説明（Device Description）] を入力します。

b) [デバイスプールタイプ（Device Pool Type）] を65Device Pools選択します。

c) [デバイスのセキュリティプロファイル（Device Security Profile）] をドロップダウン リストから選択します。

d) [SIPプロファイル（SIP Profile）] をドロップダウンリストから選択します。

e) [電話ボタンテンプレート（Phone Button Template）] をドロップダウンリストから選択します。

ステップ 4 [ユニバーサルデバイステンプレートの設定（Universal Device Template Configuration）] ウィンドウで、残りのフィールドを入力します。フィールドの説明については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 5 [電話の設定（Phone Settings）] で、次の任意指定のフィールドを入力します。

a) [共通の電話プロファイル（Common Phone Profile）] を設定した場合は、そのプロファイルを割り当てます。

b) [共通デバイス設定（Common Device Configuration）] を設定した場合は、その設定を割り当てます。

c) [機能管理ポリシー（Feature Control Policy）] を設定した場合は、そのポリシーを割り当てます。

ステップ 6 [保存（Save）] をクリックします。

ユーザ プロファイルの設定

ユーザ プロファイルを使用して、ユニバーサル回線テンプレートとユニバーサル デバイス テンプレートをユーザに割り当てます。さまざまなユーザ グループ用に複数のユーザ プロファイルを設定します。このサービスプロファイルを使用するユーザに対してセルフプロビジョニングを有効にすることもできます。

手順

ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理（Cisco Unified CM Administration）] から、以下を選択します。 **[ユーザ管理（User Management）] > [ユーザ設定（User Settings）] > [ユーザプロファイル（User Profile）]** を選択します。

ステップ 2 [新規追加（Add New）] をクリックします。

ステップ 3 ユーザ プロファイルの [名前（Name）] および [説明（Description）] を入力します。

ステップ 4 [ユニバーサル デバイス テンプレート（Universal Device Template）] を、ユーザの [デスク フォン（Desk Phones）] 、[モバイルおよびデスクトップ デバイス（Mobile and Desktop Devices）] 、および [リモート接続先/デバイス プロファイル（Remote Destination/Device Profiles）] に割り当てます。

ステップ 5 [ユニバーサル回線テンプレート（Universal Line Template）] をこのユーザ プロファイルのユーザの電話回線に適用するために割り当てます。

ステップ 6 このユーザ プロファイルのユーザに自分の電話をプロビジョニングするセルフプロビジョニング機能の使用を許可するには、次の手順を実行します

a) [エンドユーザに自分の電話のプロビジョニングを許可（Allow End User to Provision their own phones）] チェックボックスをオンにします。

b) [エンド ユーザのプロビジョニングする電話数を制限（Limit Provisioning once End User has this many phones）] フィールドに、ユーザがプロビジョニングできる電話の最大数を入力します。最大値は 20 です。

ステップ 7 このユーザ プロファイルに関連付けられた Cisco Jabber ユーザがモバイルおよびリモート アクセス（MRA）機能を使用できるようにするには、[モバイルおよびリモート アクセスの有効化（Enable Mobile and Remote Access）] チェック ボックスをオンにします。

（注） **1.** デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。このチェックボックスをオフにすると、[Jabber ポリシー（Jabber Policies）] セクションが無効になり、サービス クライアント ポリシー オプションは、デフォルトで選択されません。

2. この設定は、Cisco Jabber ユーザの場合にのみ必須です。非 Jabber ユーザは、この設定がなくても MRA を使用できます。MRA 機能は、Jabber MRA ユーザにのみ適用され、他のエンドポイントまたはクライアントには適用されません。

ステップ 8 このユーザ プロファイルに Jabber ポリシーを割り当てます。**Jabberデスクトップクライアントポリシー**及び**Jabberモバイルクライアントポリシー**のドロップダウンリストボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。

- サービスなし：このポリシーは、すべてのJabberサービスへのアクセスを禁止します。
- [IM & Presence のみ（IM & Presence only）]：このポリシーは、インスタント メッセージとプレゼンス機能だけを有効にします。
- [IM & Presence、音声およびビデオ通話（IM & Presence, Voice and Video calls）]：このポリシーは、オーディオまたはビデオデバイスを所有しているすべてのユーザーに対して、インスタント メッセージング、プレゼンス、ボイスメール、および会議機能を有効にします。これがデフォルトのオプションです。

（注） Jabber デスクトップ クライアントには Windows ユーザ用 Cisco Jabber および Mac ユーザ用 Cisco Jabber が含まれています。Jabber モバイル クライアントには、iPad および iPhone ユーザ用 Cisco Jabber および Android ユーザ用 Cisco Jabber が含まれています。

ステップ 9 このユーザ プロファイルのユーザが Cisco Unified Communications セルフケア ポータルで Extension Mobility または Extension Mobility Cross Cluster の最大ログイン時間を設定できるようにするには、[エンドユーザにエクステンションモビリティの最大ログイン時間の設定を許可する（Allow End User to set their Extension Mobility maximum login time）] チェックボックスをオンにします。

（注） デフォルトでは [エンドユーザにエクステンション モビリティの最大ログイン時間の設定を許可する（Allow End User to set their Extension Mobility maximum login time）] チェック ボックスはオフになっています。

ステップ 10 [保存（Save）] をクリックします。

ユーザ プロファイルの設定